

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 8日

事業所名：放課後等デイサービス
KID ACADEMY芦屋校

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	厚生労働省が定める設備基準を満たしています 【工夫】死角がある為児童の動きを常に把握している。 その日の活動や、障がい特性に応じて、机などの配置を変えて、過ごしやすく工夫している。 【改善】環境改善は難しい為これまで同様児童の動きに注意を払う。	はい10/どちらともいえない4/わからない2 やや狭いかなという印象はあります。 実際、活動をしている現場を見ていないので、何人ぐらいがあの部屋にいるのかわからないので、少し手狭に感じます。	場の構造化をし、限られたスペースでの有効活用をしています。
	2 職員の適切な配置	人員配置につきましては、法令を遵守しており、有資格者(保育士・児童指導員など)を配置しております。 【工夫】事前に児童の予測を立てる 【改善】職員の配置を事前に良く話し合い全員に周知する	はい12/どちらともいえない1/わからない3 子供の人数に対して、何人かの職員がいるのわからない。 送り迎えて玄関で子供を引き渡すので、その日に子供が何人いて、職員が何人いるか全く分からない。	保護者の方が不安にならないよう、なるべく職員がどれだけいるか透明性をはかっています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	2階建てなので、トイレ、手洗いなど階段を使用するのでバリアフリーとは言えない。 【工夫】手洗い時、人数を制限して数回に分けて階段を使うようにしている。 教材が児童の手に届く場所に置かず、自由時間に使う物を届く場所に置いている 【改善】しっかり整理整頓し物の所在を明らかにする。*	はい12/どちらともいえない1/わからない3 子供が通う前に一度だけ子供を連れて見学に行ったので、本人にわかりやすい環境なのか、何がどこにあるのかわからないので答えられない。	階段は必ず職員が付き添います。 本人にわかりやすい構造、情報伝達に努めてまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々、清掃・消毒を行っています。 【工夫】死角スペースが一人になりたい児童の居場所になる様に、好きな感触のクッションを置くなどもしている。	はい13/どちらともいえない10/わからない3 “子供が通う前に見学に行っていて、見えていないので常に清潔かどうかチェックのしようがない。 見学に行った時は狭く感じたので、実際に発達や職員がいたらどんな空間なんだろう”と思う。”	今後も清掃、消毒を徹底してまいります。 子ども達の活動に合わせた空間を作れるよう日々、工夫していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日支援についてのミーティング・振り返りを行っている。 【工夫】日々の申し送りは忙しくても必ず行う。 スタッフラインでこまめに情報を共有する。 【改善】お休みが続くスタッフにも行き届く様に紙面に残す等していきたい。		今後も行ってまいります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は、利用者・社内の2者評価をとっております。		今後、必要に応じて第三者評価の実施を検討してまいります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時研修、その他たくさん研修があり職員の資質向上になっています。		今後も研修に参加し、支援の質、スキルアップを心掛けていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適宜面談を行い、本人、保護者様のニーズに合わせた支援を心掛けています。個々の特性を踏まえ計画を立てています。 【工夫】児童の体調も考慮しつつ、個々の課題に取り組んでいる。	はい13/どちらともいえない13/わからない10 子供が通う前に話したぐらいで、子供の事で話す事が今までなかったの… KIDの児発の時は送り迎えの時に、困った事などの相談ができたが、なぜか放課後デイでは送り迎えの時に相談がしにくい。	保護者の方が相談しやすい雰囲気になるよう心掛けてまいります。 送迎時以外でもコンタクトが取れるようにしていきます。 連絡ノートやライン等も活用して保護者の方が聞きやすいようにしてまいります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別カリキュラムと集団カリキュラムを組み合わせ作成しております。 また、集団療育内においても個々の特性、状況に応じねらいに沿った支援を行っております。		お子様の特性に合わせた内容で、個別カリキュラム、集団カリキュラムを提供できるよう計画を立ててまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者との面談、アセスメントをもとに課題を明確化し、具体的な目標・支援内容の記載を行っております。	はい12/どちらともいえない3/わからない1	今後、具体的な目標・支援内容の記載、説明をしていきます。
適切な支援の提供 t (続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した個別支援計画書をもとにスタッフ間で課題を共有し支援の実施に努めております。 【工夫】支援計画に沿った活動を意識して行っている。 支援計画を見返したり職員間で話し合ったりしながら個々に寄り添った支援を行っている。	はい10/どちらともいえない3/わからない3	計画に沿った支援の実施を行っていますが、今後も日々、職員と話し合い個々のお子様にあった適切な支援を行っていくよう努めてまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ間で常に話し合いをしています。 【工夫】気付いた事を言い合い立案を行っている。 社員が中心に立案をし、全従業員でシェアをして修正している。 【改善】パートの方がプログラムの立案にもっと参加できるような時間を作る。		引き続き、チーム全体での立案に努めてまいります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	その日その日の利用者様の特性を踏まえ、最善の支援ができるよう組んでおります。長期休みはゆっくり過ごせるため平日ではできない内容の活動を取り入れています。 【工夫】休校日や長期休暇の際は細かく計画を立てている 長期休暇では、長期休暇の時にしかできないような内容などを考えている。 【改善】平日は下校時間の違いが大きく自由時間が長い児童もいる為自由時間の使い方を考えていきたい。		引き続き、平日・土曜日・長期休暇での取り組みを、職員間で話し合いより良い支援を提供できるよう努めてまいります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	集団活動においては、主に非認知力を養っていくプログラムを行っております。 【工夫】様々な活動を通し、得意な事が増える様な目標設定を立てている。 【改善】今後も固定化しない様に計画を立てると同時に、以前取り組んだ活動も取り組みながら幅を広げていきたい。	はい14/どちらともいえない10/わからない2 色々な製作をしたり、感触遊びをしたりと本人も楽しく参加できているようです。	今後も、活動の幅を広げていけるよう工夫してまいります。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にスタッフMTを行い、当日の支援内容や担当などについて共有した上で、実際の支援に従事しております。 【改善】役割分担や確認をしているが方向がずれる事も有る為、視覚で確認し合う等も取り入れていきたい。		今後も支援開始前には綿密な打ち合わせを行ってまいります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎に出たしまい全員での振り返りがなかなかできる状態ではないが、その日のうちに伝える事は必ず伝えるようにしている。次の日には全員で必ず振り返りを行っています。 【工夫】出来るだけその日のうちに振り返りを行う様に努力している時間の確保が難しい場合は、後日まとめて共有するようにしている。 【改善】早く帰るスタッフもいるが、しっかり伝えていきたい。		今後も支援終了後、職員間で丁寧に振り返りを行ってまいります。 その日お休みの職員にも情報共有を行います。

	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別支援記録など、できるだけその日のうちに残すように努めています。 支援について振り返り、次の支援へ繋げていけるよう努めております。		今後も支援記録など正確の記録していくよう努めてまいります。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回以上のモニタリング実施・計画の見直しを行っております。		引き続き、行ってまいります。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	実際利用者に日々接しているスタッフが担当者会議に参加しております。		今後もお子様の状況を理解している職員が参加するようにしてまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし		なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし		なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行の為に、園や学校との間での十分な情報共有はできていません。 戸田市のお子様の場合は、相談員の方との情報共有を主にしております。 【改善】継続した支援が出来る様に情報共有を細かくしていきたいと思います。		今後、必要がある際には支援内容など十分な共有をしてまいります。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	事例は少ないですが、過去には次に行く事業所の方とのサービス担当者会議を行ったり、相談員の方などに特性や必要な支援方法を伝え、情報共有をしております。		途切れない支援を継続していくために十分な情報提供をしてまいります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	社内で専門的な研修があるため外部の研修は受けていません。		今後、必要があれば外部の研修にも積極的に参加していきたいと思います。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	障がいのないお子様と一緒に活動する機会は提供できておりません。	はい2/どちらともいえない1/わからない9/いいえ4	今後、交流できる機会があるのか、交流の必要性など話し合い検討していきたいと思います。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の招待などはできておりません。		地域に開かれた事業運営に努めてまいります。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しております。	はい14/どちらともいえない2/わからない0	引き続き丁寧な説明を心掛けてまいります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画を提示しながら、利用者ニーズに沿った具体的な支援内容の説明に努めております。	はい12/どちらともいえない1/わからない2/いいえ1	引き続き丁寧な説明を心掛けてまいります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様から対応の相談などあればその都度、アドバイスを行っておりますが、ペアレント・トレーニングとしては実施できておりません。	はい4/どちらともいえない2/わからない3/いいえ7	必要があればペアトレーニングを取り入れていくようにしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時、連絡帳などでお伝えしています。 【改善】普段の様子は送迎時にお伝えしているが、保護者のニーズに答える形で共通理解をしていきたい、具体的に保護者にわかりやすく伝える必要がある。	はい11/どちらともいえない2/いいえ3	保護者の方に細かく情報提供、お子様の状況から、今何が必要でどういう事に取り組んでいるかなど、具体的にお伝えしていけるよう努めてまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談等あれば適宜対応し必要な助言などさせて頂いております。	はい12/どちらともいえない2/いいえ2	もっと相談しやすい環境になるよう意識し、必要な助言などを行っていけるよう努めてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会などの活動はおこなっておりませんが今後、勉強会などを踏まえ集まる機会を作り保護者同士の交流に繋げて行きたいと思っております。	はい1/どちらともいえない3/わからない7/いいえ5	今後、交流ができる機会を検討していきたいと思っております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	対応体制整備を行い迅速な対応に心掛けております。今後も引き続き迅速な対応に努めております。	はい7/どちらともいえない3/わからない6 苦情があった場合の連絡先はしっかりあります。特に活用することがないので、対応についてはわかりません。	迅速な対応に心がけてまいります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時やメール等を活用し、保護者との日々意思疎通や共有・円滑な情報伝達に努めております。	はい14/どちらともいえない2	適切な方法で、こまめに意思疎通や情報伝達ができるよう努めてまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月マンスリーレポートや行事予定を発行し活動内容などをお知らせしております。	はい11/どちらともいえない2/わからない2/いいえ1 マンスリーレポートで、本人の様子をもう少し詳しく知ることができるとありがたいです。	お子様の様子が詳しくわかるような内容を記載して発信していきたいと思っております。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関しては、守秘義務を順守し、鍵付きキャビネットにて厳重に管理を行っている。	はい13/わからない3	個人情報に関する取扱いを厳重な管理体制で扱ってまいります。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを完備し、職員間での共有・啓発を定期的に行っております。	はい10/どちらともいえない1/わからない5	今後、保護者の方への周知も徹底してまいります。

非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に3回、火災、津波、地震などを想定して避難訓練を実施しております。	はい2/どちらともいえない2/わからない12	訓練を行う際、保護者の方に通達をし、実施した内容など、保護者の方へ周知してまいります。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修を年に数回、機会を設けて実施し、職員の研修・啓発活動に努めております。		引き続き実施してまいります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束を行う場合の組織的なルールを明確化し、身体拘束を行う必要がある場合には、利用者や保護者への十分な説明・計画への記載を徹底して行っている		ルールの明確化を職員間で共有し、今後必要がある場合には十分な説明と計画への記載をしております。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事前ヒアリングにて、食物アレルギーに対する詳細を保護者へ確認し、おやつ等に含まれないようにアレルギーチェックを行っております。		今後も適切な対応に努めてまいります。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、その旨を記録として残し、同じ状況が起こらないよう職員で共有・改善を行っております。		職員の意識を高めていくためにも、細かくMTをしていき、同じ事が起こらないよう努めてまいります。